



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 ブラザー工業株式会社

コード番号 6448 URL <http://www.brother.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小池 利和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長

(氏名) 藤井 宗高

TEL 052-824-2075

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	288,355	17.9	19,364	△1.3	15,323	△23.5	6,435	△56.6
25年3月期第2四半期	244,525	△0.8	19,626	△24.6	20,040	△24.8	14,840	9.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 18,335百万円 (420.6%) 25年3月期第2四半期 3,522百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	24.14	24.09
25年3月期第2四半期	55.44	55.35

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	448,725		294,061	61.9			1,042.15	
25年3月期	421,494		278,769	62.4			985.85	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 277,852百万円 25年3月期 262,837百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
26年3月期	—	12.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	16.3	35,000	17.5	29,500	27.5	16,500	△7.4	61.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) ブラザーインダストリーズ(フィリピン) 、 除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	277,535,866 株	25年3月期	277,535,866 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	10,921,372 株	25年3月期	10,925,903 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	266,612,521 株	25年3月期2Q	267,682,655 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績見通しであり、当社としてはその実現を約束する趣旨のものではありません。実績の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

業績予想に関しては、【添付資料】P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
3. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(重要な後発事象) .....	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

**1. 当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の業績全般の概況**

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては、金融緩和の縮小に対する警戒感や金利の上昇などにより、家計部門の回復はやや鈍化傾向にあるものの、企業部門の好調を受け、全体としては緩やかな成長が持続しております。景気の低迷が続いていた欧州においても、企業の景況感の改善や、雇用環境の悪化に歯止めがかかりつつあることなど、景気に持ち直しの兆しが見えつつあります。また、日本においても、日銀の金融緩和による円安を受けた輸出環境の改善や、株価の上昇による消費者心理の改善など、景気の回復が鮮明になっております。一方、新興国においては、通貨安による景気の悪化が懸念されるなど、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、産業機器の需要減少に伴い、マシナリー・アンド・ソリューション事業が減収となったものの、通信・プリンティング機器を中心に、円安による為替のプラス影響が出たことや、株式会社ニッセイの新規連結効果などにより、売上高は前年同期比17.9%増の2,883億5千5百万円となりました。営業利益は、円安による為替のプラス影響はあるものの、産業機器が減収となったことや、販売費及び一般管理費などの費用増加の影響により、前年同期比1.3%減の193億6千4百万円となりました。経常利益は、保有している為替予約に係る決済差損が増加した影響により、前年同期比23.5%減の153億2千3百万円となりました。四半期純利益は、税効果会計の影響で法人税等が増加したことなどにより、前年同期比56.6%減の64億3千5百万円となりました。

\*当第2四半期連結累計期間における平均為替レート(連結)は次の通りです。

米ドル : 97.99円      ユーロ : 128.79円

\*前第2四半期連結累計期間における平均為替レート(連結)は次の通りです。

米ドル : 79.43円      ユーロ : 101.12円

**2. 当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の主なセグメント別の状況**

※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、変更後の区分に基づいております。

**1) プリンティング・アンド・ソリューションズ事業**

売上高 2,025億3千3百万円(前年同期比+27.1%)

●通信・プリンティング機器 1,801億5千1百万円(前年同期比+26.8%)

主に米州において、製品本体・消耗品とも需要が堅調だったことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

●電子文具 223億8千2百万円(前年同期比+29.0%)

主に米州・日本で売上が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

営業利益 147億2千2百万円(前年同期比+18.8%)

販売費及び一般管理費の増加の影響はあるものの、為替のプラス影響により、増益となりました。

**2) パーソナル・アンド・ホーム事業**

売上高 187億6千7百万円(前年同期比+25.7%)

主に米州において売上が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

営業利益 16億1千3百万円(前年同期比+63.8%)

主に為替のプラス影響により、増益となりました。

**3) マシナリー・アンド・ソリューション事業**

売上高 300億4千9百万円(前年同期比△20.7%)

●工業用ミシン 124億6千9百万円(前年同期比+49.8%)

中国・アジア地域における、縫製産業の設備投資需要回復の影響により、増収となりました。

●産業機器 175億7千9百万円(前年同期比△40.6%)

IT関連産業向けの需要縮小の影響により、減収となりました。

営業利益 20億4千9百万円(前年同期比△53.2%)

産業機器の減収の影響により、減益となりました。

**4) ネットワーク・アンド・コンテンツ事業**

売上高 222億5千6百万円(前年同期比△12.1%)

前年に発売したカラオケ機器の新製品効果が薄れたことにより、減収となりました。

営業損失 2億9千2百万円(前年同期 営業利益 12億1千4百万円)

減収に伴い、営業損失となりました。

**5) 工業用部品事業**

売上高 76億3千8百万円

営業利益 5億1千6百万円

第1四半期連結会計期間より、工業用部品事業セグメントとして開示しております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ272億3千1百万円増加し、4,487億2千5百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ119億円3千9百万円増加し、1,546億6千3百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ152億9千1百万円増加し、2,940億6千1百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローでは、前年同四半期連結累計期間より122億3千2百万円多い257億9千5百万円の現金及び現金同等物（以下「資金」）が得られました。これは、運転資金の増加などがあったためです。投資活動によるキャッシュ・フローでは、前年同四半期連結累計期間より52億2千4百万円多い183億6千7百万円の資金を支出しました。これは、有形固定資産の取得による支出や、投資有価証券の取得による支出などがあったためです。財務活動によるキャッシュ・フローでは、前年同四半期連結累計期間より37億7千1百万円少ない43億5千9百万円の資金を支出しました。これは当期、社債の償還による支出がなかったためです。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次の通りです。

1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益は150億2千万円で、減価償却費125億3千5百万円など、非資金損益の調整の他、仕入債務の増加125億9千万円などによる資金増加があり、法人税等の支払47億7千5百万円などを差し引いた結果、257億9千5百万円の資金の増加となりました。

2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出137億8千7百万円、無形固定資産の取得による支出24億9千3百万円、投資有価証券の取得による支出34億8千7百万円などにより、183億6千7百万円の資金の減少となりました。

3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額31億8千9百万円、リース債務の返済による支出7億4千7百万円などにより、43億5千9百万円の資金の減少となりました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末に比べ106億5千5百万円増加し、657億1千4百万円となりました。また、前年同四半期連結会計期間末に比べ161億7千1百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境を踏まえ、平成26年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

(単位：億円)

	平成26年3月期 予想 (A)	平成25年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成26年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
売上高	6,000	5,161	16.3%	5,850	2.6%
営業利益	350	298	17.5%	350	-
経常利益	295	231	27.5%	320	△7.8%
当期純利益	165	178	△7.4%	185	△10.8%
為替レート (円)					
米ドル	96.77	83.23	-	92.84	-
ユーロ	127.45	107.57	-	122.78	-

※上記表内の為替レートは、年間の平均レートです。

売上高は、通信・プリンティング機器の欧州地域での販売見通し及びネットワーク・アンド・コンテンツ事業の見通しなどを引き下げたものの、為替の想定レートを円安方向に変更したことによるプラス影響が大きく、前回予想を上回る見通しです。営業利益は、為替の想定レートの変更によるプラス影響を織り込んだものの、通信・プリンティング機器及びネットワーク・アンド・コンテンツ事業の見通しの引き下げによるマイナス影響にほぼ相殺され、前回見通しから変更はありません。経常利益、当期純利益については、為替の想定レートの変更により、保有している為替予約に係る決済差損が増加する影響を織り込んだ結果、前回予想を下回る見通しです。

なお、平成26年3月期の通期連結業績見通しの前提となる、予想部分の為替レートについて、1米ドル=90円から、1米ドル=95円へ変更しております。ユーロについては、1ユーロ=120円から、1ユーロ=125円へ変更しております。

[参考データ]

1) 事業セグメント別売上高

(単位：億円)

		平成26年3月期 今回予想 (A)	平成25年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成26年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
プリンティング・ アンド・ ソリューションズ事業	通信・プリン ティング機器	3,760	3,135	19.9%	3,638	3.4%
	電子文具	454	373	21.6%	440	3.2%
	計	4,214	3,508	20.1%	4,078	3.3%
パーソナル・アンド・ホーム事業		417	338	23.4%	398	4.8%
マシナリー・ アンド・ ソリューション事業	工業用ミシン	260	189	37.5%	251	3.6%
	産業機器	298	425	△29.9%	298	-
	計	558	614	△9.1%	549	1.6%
ネットワーク・アンド・コンテンツ事業		505	501	0.8%	525	△3.8%
工業用部品事業		160	-	-	161	△0.6%
その他事業		146	199	△26.7%	139	5.0%
合計		6,000	5,161	16.3%	5,850	2.6%

2) 事業セグメント別営業利益

(単位：億円)

		平成26年3月期 今回予想 (A)	平成25年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成26年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
プリンティング・アンド・ ソリューションズ事業		253	188	34.4%	251	0.8%
パーソナル・アンド・ ホーム事業		34	25	36.6%	32	6.3%
マシナリー・アンド・ ソリューション事業		24	40	△40.1%	23	4.3%
ネットワーク・アンド・ コンテンツ事業		14	23	△39.5%	21	△33.3%
工業用部品事業		11	-	-	11	-
その他事業		14	21	△34.6%	12	16.7%
合計		350	298	17.5%	350	-

3) 所在地別売上高

(単位：億円)

	平成26年3月期 今回予想 (A)	平成25年3月期 実績 (B)	増減率 (A/B - 1)	平成26年3月期 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
日本	1,570	1,516	3.6%	1,576	△0.4%
米州	2,003	1,595	25.6%	1,873	6.9%
欧州	1,524	1,303	17.0%	1,509	1.0%
アジア他	903	747	21.0%	892	1.2%
合計	6,000	5,161	16.3%	5,850	2.6%

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結財務諸表に及ぼす重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、ブラザーインダストリーズ（フィリピン）を連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,320	68,437
受取手形及び売掛金	80,418	83,105
有価証券	10,004	4,853
たな卸資産	87,679	97,678
その他	19,685	18,465
貸倒引当金	△1,555	△1,559
流動資産合計	248,554	270,980
固定資産		
有形固定資産	88,588	96,276
無形固定資産		
のれん	5,253	5,651
その他	14,429	14,932
無形固定資産合計	19,682	20,583
投資その他の資産		
投資有価証券	38,612	33,306
その他	34,740	35,518
貸倒引当金	△8,684	△7,941
投資その他の資産合計	64,668	60,884
固定資産合計	172,940	177,745
資産合計	421,494	448,725
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,107	43,076
短期借入金	6,524	6,405
未払法人税等	2,998	4,546
賞与引当金	7,921	7,596
役員賞与引当金	—	30
製品保証引当金	3,901	4,691
著作権費用引当金	918	1,002
資産除去債務	13	16
その他	52,669	49,819
流動負債合計	107,054	117,185
固定負債		
長期借入金	12,700	12,900
退職給付引当金	8,671	9,586
役員退職慰労引当金	407	306
資産除去債務	1,025	1,029
その他	12,865	13,656
固定負債合計	35,670	37,478
負債合計	142,724	154,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,209	19,209
資本剰余金	16,463	16,463
利益剰余金	255,639	258,559
自己株式	△12,971	△12,967
株主資本合計	278,341	281,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,344	4,220
繰延ヘッジ損益	△443	△812
為替換算調整勘定	△17,405	△6,820
その他の包括利益累計額合計	△15,503	△3,412
新株予約権	458	451
少数株主持分	15,473	15,757
純資産合計	278,769	294,061
負債純資産合計	421,494	448,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高	244, 525	288, 355
売上原価	138, 901	165, 627
売上総利益	105, 623	122, 727
販売費及び一般管理費	85, 996	103, 363
営業利益	19, 626	19, 364
営業外収益		
受取利息	403	468
受取配当金	195	118
持分法による投資利益	96	—
デリバティブ評価益	609	1, 652
その他	359	914
営業外収益合計	1, 664	3, 153
営業外費用		
支払利息	202	168
売上割引	915	1, 151
為替差損	46	5, 570
持分法による投資損失	—	128
その他	87	173
営業外費用合計	1, 251	7, 194
経常利益	20, 040	15, 323
特別利益		
固定資産売却益	57	30
抱合せ株式消滅差益	—	144
その他	27	53
特別利益合計	85	227
特別損失		
固定資産売却損	12	49
固定資産除却損	186	218
減損損失	91	231
投資有価証券売却損	0	—
子会社清算損	125	—
その他	412	30
特別損失合計	828	530
税金等調整前四半期純利益	19, 297	15, 020
法人税等	4, 456	8, 348
少数株主損益調整前四半期純利益	14, 840	6, 672
少数株主利益	0	237
四半期純利益	14, 840	6, 435

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,840	6,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,654	2,099
繰延ヘッジ損益	192	△369
為替換算調整勘定	△9,827	9,933
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	—
その他の包括利益合計	△11,318	11,662
四半期包括利益	3,522	18,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,522	17,874
少数株主に係る四半期包括利益	0	460

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	19,297	15,020
減価償却費	10,845	12,535
減損損失	91	231
のれん償却額	773	766
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	157	231
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	301	914
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△465	789
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△584	△324
受取利息及び受取配当金	△598	△587
支払利息	202	168
為替差損益 (△は益)	329	△1,985
持分法による投資損益 (△は益)	△96	128
デリバティブ評価損益 (△は益)	△609	△1,652
固定資産除売却損益 (△は益)	141	238
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△144
子会社清算損	125	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△419	△666
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,714	△5,336
仕入債務の増減額 (△は減少)	962	12,590
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,708	254
その他	25	△3,051
小計	15,055	30,122
利息及び配当金の受取額	695	618
利息の支払額	△243	△170
補償金の受取額	96	—
法人税等の支払額	△2,042	△4,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,563	25,795
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	—	2,801
有形固定資産の取得による支出	△9,399	△13,787
有形固定資産の売却による収入	682	764
無形固定資産の取得による支出	△2,699	△2,493
投資有価証券の取得による支出	△285	△3,487
投資有価証券の売却による収入	0	699
関係会社株式の取得による支出	△996	△920
関係会社出資金の払込による支出	—	△2,188
長期貸付金の回収による収入	13	102
その他	△458	141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,143	△18,367

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,792	△444
長期借入れによる収入	200	200
リース債務の返済による支出	△905	△747
社債の償還による支出	△15,000	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	7	△1
配当金の支払額	△3,225	△3,189
少数株主への配当金の支払額	—	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,130	△4,359
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,688	3,075
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,398	6,144
現金及び現金同等物の期首残高	58,731	55,059
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,209	4,301
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	210
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,543	65,714

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	プリンティング・アンド・ソリューションズ	パーソナル・アンド・ホーム	マシナリー・アンド・ソリューション	ネットワーク・アンド・コンテンツ	工業用部品
売上高					
外部顧客への売上高	159,387	14,926	37,896	25,330	—
セグメント間の内部売上又は振替高	—	—	—	—	—
計	159,387	14,926	37,896	25,330	—
セグメント利益	12,392	984	4,381	1,214	—

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高				
外部顧客への売上高	6,983	244,525	—	244,525
セグメント間の内部売上又は振替高	4,734	4,734	△4,734	—
計	11,717	249,259	△4,734	244,525
セグメント利益	676	19,649	△23	19,626

(注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント間の内部売上又は振替高の調整額△4,734百万円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益の調整額△23百万円はセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	プリンティング・アンド・ソリューションズ	パーソナル・アンド・ホーム	マシナリー・アンド・ソリューション	ネットワーク・アンド・コンテンツ	工業用部品
売上高					
外部顧客への売上高	202,533	18,767	30,049	22,256	7,638
セグメント間の内部売上又は振替高	—	—	—	—	—
計	202,533	18,767	30,049	22,256	7,638
セグメント利益又は損失(△)	14,722	1,613	2,049	△292	516

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
売上高				
外部顧客への売上高	7,110	288,355	—	288,355
セグメント間の内部売上又は振替高	4,779	4,779	△4,779	—
計	11,890	293,134	△4,779	288,355
セグメント利益又は損失(△)	790	19,400	△36	19,364

- (注) 1. その他には不動産事業等を含んでおります。  
 2. セグメント間の内部売上又は振替高の調整額△4,779百万円はセグメント間取引消去であります。  
 3. セグメント利益又は損失の調整額△36百万円はセグメント間取引消去であります。  
 4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、新規事業の取得に伴い、管理区分の見直しを行ったことから、報告セグメントを従来の「プリンティング・アンド・ソリューションズ事業」、「パーソナル・アンド・ホーム事業」、「マシナリー・アンド・ソリューション事業」、「ネットワーク・アンド・コンテンツ事業」の4区分から「プリンティング・アンド・ソリューションズ事業」、「パーソナル・アンド・ホーム事業」、「マシナリー・アンド・ソリューション事業」、「ネットワーク・アンド・コンテンツ事業」、「工業用部品事業」の5区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。